

2014年度 基幹理工学部の入試における変更について

早稲田大学基幹理工学部は、2014年度以降の入試について、学生募集形態を以下の通り変更いたします。出願予定の方は、ご注意ください。

1. 変更内容

《2013年度入学者まで》

学部一括募集を行う。

入学者は、2年生進級時に、学科（数学科、応用数理学科、情報理工学科、機械科学・航空学科、電子光システム学科、表現工学科）を選択する。

《2014年度入学者から》

学系別募集を行う。

入学者は、2年生進級時に、原則として所属学系内から進級先学科を選択する。

	学系Ⅰ	学系Ⅱ	学系Ⅲ
各学系から進級できる学科と人数の目安	数学科（50名） 応用数理学科（20名）	機械科学・航空学科（150名） 電子光システム学科（80名） 情報理工学科（80名） 応用数理学科（40名）	表現工学科（45名） 情報理工学科（70名）

※基幹理工学部が実施する入試のうち、学士入学・3年編入学試験を除くすべての入試が対象となります。（一般入試・指定校推薦入試・特別選抜入試・帰国生入試・外国学生入試・系属校からの推薦入試・附属校からの進学）

※学系間の併願はできません。出願時にいずれかの学系1つを選択してください。

※創造理工学部、先進理工学部との併願はできません（従来通り）。

※若干名に限り、成績等により別の学系内の学科への進級が認められる場合があります。

2. 変更の理由

基幹理工学部では現在、学部1年生全員が共通カリキュラムで学習し、2年生進級時に自らの意志で学科を選択する独自のシステムを採用しています。この入試・教育システムは1年間の共通基礎教育を通して自らの関心や適性を再確認し、進級すべき学科を選択できる有効な制度であり、在学生のみならず多くの受験生から高い評価を受けております。そこで、この現行制度の長所をできるだけ活用すると共に、受験生の志望分野を「学系」という専門領域に分割することで、入学後の学習目標をより明確に定めることを可能とし、1年生から専門分野への関心を誘起させて将来設計の意識を高め、より適性の高い学科を選択できるよう、入試制度を変更いたします。

現在の一括入試では、2年進級時に6学科の中から進級先学科を選択するため、自分の希望する学科へ必ず進級できるという保証がないこと、関心のない専門分野へ進級しなければならない不安があるなどの理由により、基幹理工学部を受験を躊躇した受験生も多いと思いますが、今回の変更によって、本人の希望に沿ったより適性の高い学科に進級できる可能性が更に増すことが期待できます。

3. 2014年度一般入試について

(1) 募集学系および募集人員

	学系Ⅰ (40名)	学系Ⅱ (210名)	学系Ⅲ (65名)
学科	数学科 応用数理学科	機械科学・航空学科 電子光システム学科 情報理工学科 応用数理学科	表現工学科 情報理工学科

※基幹理工学部全体の募集人員は、2013年度までと変更ありません(315名)。

(2) 試験科目

- ① 英語 (90分/120点)
- ② 数学 (120分/120点)
- ③ 理科 (120分/120点)
 - <学系Ⅰ> 物理・化学・生物から2科目選択
 - <学系Ⅱ> 物理・化学(従来通り)
 - <学系Ⅲ> 物理・化学・生物から2科目選択

※創造理工学部、先進理工学部と同一問題により同一日程で試験を行います(従来通り)。

(3) 得意科目選考

学系Ⅲのみ、得意科目選考を実施します。得意科目選考とは、各科目(英語、数学、物理、化学、生物)において特に優れた能力を有すると判定された受験生を、総合点が合格点に達していなくとも合格とする選考方法です。

以上